

総合型地域スポーツクラブを核とした活力ある地域づくり推進事業実践事例

都道府県名 福岡県 受託団体名 財団法人福岡県スポーツ振興公社

実践テーマ 「障害者のスポーツ参加機会の向上」

～障害者が健常者とともにスポーツを楽しむことができる地域スポーツ環境の構築～

【テーマ設定の理由】

総合型クラブの設立により、地域のスポーツ環境は整備されてきているが、障害者が日常的にスポーツを楽しむ環境は十分とは言えない現状がある。そこで、広域スポーツセンターを窓口にも、その各関連機関や団体とクラブを結びつけることにより、地域の人材が結びつき、地域の施設の有効活用がなされるなど、障害の有無に関わらず楽しめる地域スポーツ環境の構築が図れるものとする。

実践クラブ評価委員会

満園 良一（久留米大学 教授）	田中 浩子（中村学園大学 教授）
田中 友治（福岡県スポーツ少年団本部長）	鶴田 安秀（県体育指導委員協議会理事長）
桜木 英一（NPO法人Webスポーツクラブ21西国分クラブマネジャー）	白水 卓之（NPO法人春日イーグルス理事長）
行實 鉄平（久留米大学 講師）	山野 明（県障害者スポーツ協会主任指導員）
堀 秀行（県社会推進部県民文化スポーツ課企画監）	野口憲一郎（県福祉労働部障害者福祉課社会参加係長）
梅田 保人（県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課課長補佐）	江島 玲子（県教育庁教育振興部義務教育課主幹指導主事）
松永 和生（財団法人福岡県体育協会常務理事兼事務局長）	吉松 政春（県立福岡高等盲学校教頭【特別支援学校教頭会会長】）

課題解決のために連携をとった機関・団体

- 福岡県障害者スポーツ協会
- 久留米大学
- 久留米市立久留米養護学校
- 福岡BC HEROES: 知的障害者バスケットボール
- 福岡Limitz: 車いすバスケットボールチーム

【上記機関・団体と連携をとった効果】

総合型クラブ単独では得られない情報や人材を求めるだけでなく、指導の場を求める指導者やスポーツ指導の実際に学びの場を求める学生、発表や練習、社会貢献の場を求める障害者スポーツチームなどへ場の提供ができるなど、相互利益の関係が生まれ、地域スポーツ環境の構築を通して、地域の活力となりつつある。

実践クラブ名 NPO法人Webスポーツクラブ21西国分

【クラブ概要】

- ・設立年月日 平成 13 年 4 月 1 日 設立
- ・クラブ所在地 福岡県久留米市諏訪野町1563
- ・クラブの特色 青少年の健全育成、地域住民の生涯スポーツ推進のために活動をはじめたクラブ。地域が、元気で連帯感あふれる街になるため、長期的な視点から、スポーツに留まらず、ボランティアなどの幅広い活動を行い、学校、校区公民館などと連携を図るとともに、将来の指導者やスタッフの育成も図っている。
- ・クラブマネジャーの活動状況 非常勤・無給
- ・会員数(H20.7.1現在) 580人
- ・定期活動種目数 28 種目
- ・会費の種類と金額 クラブ会員 2400円/年、一般会員 3000円/年
- ・平成20年度総予算額 5,300,000 円

実践プロジェクト①

フライングディスク競技体験教室

◆プロジェクトのねらい

障害の有無に関わらず、地域の人と共にスポーツを楽しめる機会をつくり、健康の維持・増進を図るとともに、教室への参加をとおして、地域でのスポーツ参加機会の向上と交流をさらに深めることができるようにする。

◆実施概要

参加対象者を特に指定せず、平成20年8月9日（土）10:00～12:00久留米総合スポーツセンター補助競技場にて開催。／参加費：100円／参加者：久留米市内及び近郊の授産施設から／指導者：2名、指導補助員：3名

◆参加者数 54名

◆活動の様子



◆評価

真夏の炎天下の中でありながら、だれもが熱心に取り組む様子がみられ、総合型クラブでの日常的なプログラムとしての確立の必要性や、それを求める一定程度のニーズがあることが把握できた。

実践プロジェクト②

久留米市立久留米養護学校フライングディスク競技体験教室

◆プロジェクトのねらい

学校の求めに応じて、総合型クラブからスポーツ指導者及びサポートチームを派遣することを通して、学習の一環となるスポーツ活動を支えるとともに、学校との連携を図ることができるようにする。

◆実施概要

久留米市立久留米養護学校の要望から、学習（総合的な学習の時間）の一環として実施。／平成21年1月23日（金）10:00～12:00／指導者：2名、指導補助員：3名

◆参加者数 12名

◆活動の様子



◆評価

フライングディスク競技大会出場を希望する生徒の声が聞かれ、一定程度のニーズがあることが把握できたとともに、学校で学習として取り組んだスポーツが地域で練習できるような環境の構築が必要であることが明らかとなった。

実践プロジェクト③ 親子体操教室

◆プロジェクトのねらい

障害の有無に関わらず、地域の人が共にスポーツを楽しめる機会をつくり、健康の維持・増進を図るとともに、教室への参加をとおして、地域でのスポーツ参加機会の向上と交流をさらに深めることができるようにする。

◆実施概要

対象者：知的障害児（小学生）とその保護者／開催日及び回数：11月～12月の土曜日10：00～12：00 6回開催／1回500円／会場：久留米大学御井学舎／指導者：2名、指導補助員：3名

◆参加者数 親子8組 各回の参加者①13名②17名③9名④12名⑤16名⑥18名 のべ85名

◆活動の様子



◆評価

本教室は、特に地域の大学（久留米大学）と連携した取り組みであり、指導補助者や場の確保等、環境が整備された教室となった。教室終了後には、今後も継続した取り組みを望む声が聞かれ、本教室に一定程度のニーズがあることが把握できた。

実践プロジェクト④ スポンジテニス体験教室

◆プロジェクトのねらい

障害者スポーツサポーターのための、障害者スポーツ理解の体験教室とする。

◆実施概要

対象者：障害スポーツをサポートする者／開催日時：平成21年2月13日・20日18：00～20：00／会場：久留米大学御井学舎 御井アリーナ／指導員：1名 指導補助員：1名

◆参加者数 7名 各回の参加者①7名②7名 のべ14名(家族1組：3名を含む。)

◆活動の様子



◆評価

障害者スポーツを支える者が、体験を通して新たなプログラムとしての可能性を検討したが、ラケット競技であるスポンジテニスだけの単一プログラムでは教室開催が難しく、複数プログラムの組み合わせによる教室開催の必要性が明確となった。

実践プロジェクト⑤ 障害者スポーツフェスタ

◆プロジェクトのねらい

障害の有無に関わらず、地域の人が共にスポーツを楽しめる機会をつくり、健康の維持・増進を図るとともに、フェスタへの参加を通して、地域でのスポーツ参加意欲の向上を図ることができるようにする。

◆実施概要

日時:平成20年10月13日(月)【体育の日】9:45~15:15/アクションフェア(広域スポーツセンターのスポーツフェア)との同時開催/協力:県障害者スポーツ協会、久留米大学、福岡Limiz(車いすバスケットボールチーム)、福岡BC HEROES(知的障害者バスケットボールチーム)

◆参加者数 301名

◆活動の様子



◆評価

総合型クラブと障害者スポーツチームや大学の障害者スポーツサポートチームとの連携により、試合観戦や体験教室等、盛会のうちに終了することができた。参加者には、体験を通して、障害の有無に関わらず楽しめるスポーツの理解を深めていただくことができた。

その他の取組

◇走り方教室の開催〈協力クラブによる開催〉

実践クラブのスポーツ教室と体験教室開催のノウハウを生かし、実践クラブではできない教室を開催することを通して、ニーズの把握や障害者のスポーツへの参加機会向上に向けた実践の拡充を図った。/平成21年1月に2回実施/参加者:15名
□継続した取り組みを望む声が聞かれ、一定程度のニーズがあることが把握できた。
■継続に伴う環境を整えること。

本事業の成果

- 障害の有無に関わらず、共にスポーツを楽しめる機会を創出することができた。
- 各教室の開催後に、継続を望む声が聞かれ、障害者のスポーツに対するニーズが一定程度あることが把握できた。
- 広域スポーツセンターを窓口に、総合型クラブを核として、県障害者スポーツ協会や地域の障害者スポーツ指導者、地域の大学等、障害者スポーツ環境を整備するための連携を図ることができた。
- 学校の求めに応じて、総合型クラブから、スポーツ指導者及びサポートチームの派遣を行うことで学習を支えたことから、学校と総合型クラブとの連携を実現できた。
- 地域の大学と連携を進める中で、学生による地域の障害者スポーツのサポートチーム(サークル)の設立がみられた。

本事業の課題と今後の取組

- 障害者スポーツ教室に継続して取り組むための指導者や場の確保。
- 県内の障害者スポーツ環境の整備につながるロールモデルの確立とその啓発。
- スポーツのノーマライゼーション理念に基づく、障害の有無にかかわらず活動できる新たなプログラムの開発。
- 地域の特別支援学級児童・生徒へのスポーツ教室参加の呼びかけ。